

S I P 第 3 期「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」 社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 6 年 5 月 2 3 日
ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築
プログラムディレクター 西村 訓弘

今般、ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築においては、令和 5 年度の評価委員会による評価結果を踏まえた検討の加速や、特許調査等の背景情報の更新、各研究開発テーマの進捗状況の反映等のため、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更を行いたい。主な変更内容は以下のとおり。

1. Society 5.0 における将来像

評価委員会からの指摘を踏まえ、本課題が目指す姿の明確化を図るため、「I Society 5.0 における将来像」において、本課題の目指す社会像を明確化し、ビジュアライズ資料を追加した。

2. 社会実装に向けた戦略

「II. 社会実装に向けた戦略」における「背景（グローバルベンチマーク等）」について、国内外の最新の動向を反映するため、欧州の AI 規則や AI 関係の特許出願動向、博士号取得者数等について更新を行った。

3. 研究開発計画

「III 研究開発計画」の具体化及び最新の研究開発動向の反映のため、「1 研究開発に係る全体構成」について、研究開発の全体像を表すビジュアライズ資料を追加するとともに、「3 個別の研究開発テーマ」について、過年度までの進捗状況や追加予算で実施する項目、令和 6 年度の予算額等を追記した。

以上